

# 土木工事共通仕様書 関係基準

週休 2 日制ガイドライン  
(受注者希望方式)

平成 30 年 4 月

阪神高速道路株式会社



## 目 次

第 1 節	一 般	1
第 2 節	対象工事	1
第 3 節	週休 2 日の定義	1
第 4 節	週休 2 日への取組に関する手続等	2
第 5 節	取得計画書及び取得報告書	2
5.1	取得計画書作成上の注意	2
5.2	取得計画書の構成及び記載内容	2
5.3	取得報告書の構成及び記載内容	2
第 6 節	工事工程の共有	3
第 7 節	工事成績評定	3
第 8 節	設計変更	3



## 第1節 一般

このガイドラインは、阪神高速道路株式会社が発注する工事の受注者が、受注者の希望によって週休2日へ取り組む場合の指針を示すものである。

## 第2節 対象工事

週休2日への取組は、受注者の希望によって行う「受注者希望方式」とする。ただし、当該取組の対象は原則として全工事とするが、下記のいずれかに該当する工事は対象外とする。

- (1) 契約工期が6ヶ月（約180日）未満の工事
- (2) 現場施工が3ヶ月（約90日）未満の工事
- (3) 通年維持工事や緊急対応工事等の工期があらかじめ決められている工事
- (4) 社会的要請等により早期の工事完成が望まれる工事
  - 例①災害復旧工事
  - 例②供用時期が公表され、施工条件の制約が厳しい工事
- (5) 工事発注後に施工時間や施工方法への新たな制約が予想される工事
  - 例①通学時間帯の中断など地域社会からの要望が予想される工事
  - 例②希少動植物の繁殖の確認によって対策が予想される工事
- (6) 高速道路上の規制内で施工を行う工事
- (7) その他 週休2日が適切でないと認められる工事

## 第3節 週休2日の定義

取組を行う工事の工期内において、下記の定義に基づき週休2日相当の現場閉所を行ったか否かを確認する。

- 工期内<sup>※注1)</sup>において、週休2日<sup>※注2)</sup>相当の現場閉所を行ったと認められること。(年末年始6日間(12月29日～1月3日)と夏季休暇3日間(8月14日～16日)を除く)
- 計画的に取得できる現場閉所に加え、祝祭日及び降雨、降雪等による予定外の休工日も現場閉所日数<sup>※注3)</sup>とすることができる。

※注1) 工期内とは、工事着手日からしゅん工日までの期間から工場製作及び工事全体の一時中止を除いた期間。

※注2) 週休2日とは、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態。

※注3) 現場閉所日数とは、一定期間内において、1日を通していずれ

の作業も実施していない日の合計。

#### 第4節 週休2日への取組に関する手続等

受注者は、週休2日への取組を行う場合、監督員と協議の上、下記のとおり書類作成等の手続を行うものとする。

- (1) 受注者は、工事着手前又は施工計画書提出前に、週休2日の取得計画が確認できる「取得計画書」を作成し、監督員の確認を得たうえで、週休2日を確保するものとする。
- (2) 現場閉所を行う日は、予め「作業予定」と併せて監督員へ連絡を行うものとする。
- (3) 受注者は、週休2日の取得報告書を毎月監督員へ提出するものとする。
- (4) 工事しゅん工後、週休2日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督員に提出するものとする。
- (5) 受注者の責によらず、やむを得ず週休2日への取組が実施できないことが明らかとなった場合は、監督員と協議を行うものとする。

#### 第5節 取得計画書及び取得報告書

##### 5.1 取得計画書作成上の注意

取得計画書（以下、「取得計画書」という。）の作成に当たっては、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 取得計画書の大きさはA4版とする。
- (2) 文字の大きさは原則として見出し12pt、その他10.5ptを標準とする。
- (3) 取得計画書は、工事着手前に、監督員に提出しなければならない。
- (4) 取得計画書の内容に変更が生じた場合には、速やかに変更取得計画書を作成し提出するものとする。

##### 5.2 取得計画書の構成及び記載内容

受注者は、取得計画書に次の事項について記載するものとする。

###### (1) 工期及び取得計画

工期については、下記期間が明確となるよう記載を行うものとする。

- (A) 工事着手日から工事しゅん工日までの期間
- (B) 工期のうち、工場製作及び工事一時中止の期間（(A)の内数）
- (C) 工期のうち、週休2日対象の期間（(C)=(A)-(B)）
- (D) 工期のうち、計画的に取得を行う現場閉所日及び日数（(C)の内数）  
（現場閉所日は、曜日又は指定日のいずれの記載でも可）

###### (2) その他

その他重要な事項について、必要により記載する。

### 5.3 取得報告書の構成及び記載内容

受注者は、毎月、監督員へ提出する前の月の取得報告書に、取得計画書で記載した上記 5.2 の「工期及び取得計画」と現場閉所日数（取得実績）について記載するものとする。

## 第6節 工事工程の共有

受注者が週休2日への取組を行う場合、受発注者は土木工事共通仕様書に基づき作成される工事实施工程表、月間工程表、工事進捗報告等の各種資料を用いて、受発注者間での工事工程の共有を図るものとする。

## 第7節 工事成績評定

週休2日相当の現場閉所を行ったと認められた場合は、工事成績評定への加点評価を行う。なお、週休2日への取組は受注者希望方式で行うものであるため、週休2日を実施できなかった場合の工事成績評定の減点は行わない。

## 第8節 設計変更

取得報告書で実施状況を確認の上、週休2日相当の現場閉所を行ったと認められる場合は、対象期間中の現場の閉所状況に応じて、設計変更の対象とし共通仮設費及び現場管理費等の補正を行うこととする。

